

前期基本計画 平成27年度 施策方針評価書

政 策 : 06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

基本施策 : 02 住民自治につながる総合計画の確実な推進

施 策 : 03 新たな価値創造のための連携の推進

施策担当職・氏名 | 企画政策課総括主査 杉村 英久

1. 施策の平成27年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

本市は、国・県等の試験研究機関や防衛施設が集積するとともに本市の強みである複数の大学・短期大学が立地している環境を有しています。またこれまでの盛岡広域8市町との連携の取組に加え、新たな広域連携としての地方中枢拠点都市構想の活用などによる様々な主体との積極的な連携を検討する必要があります。本市の恵まれた環境と今までの取組を生かし、多様な主体との連携による効果的な政策展開と経営資源の確保につながる新たな価値の創造を図ります。

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 連携事業の取組数 単位 件	9	10	11	13	15	16	E	
			4	-	-	-	-	△71.4	
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で生かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42	43.5	45	46	A	
			40.4	-	-	-	-	13.8	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1	7727 学連携活性化事業 学生提案プロジェクト数 単位 件	目標値	5	5	5	5	5	5
		実績	2	4	5	1	-	-
2	7739 滝沢ふるさと会補助事業 滝沢ふるさと会の会員数 単位 人	目標値	115	120	125	130	130	130
		実績	120	120	121	130	-	-
3	7882 行政体制強化・連携事業 移譲事務件数 単位 件	目標値	250	250	250	250	250	250
		実績	241	239	212	209	-	-
	単位	目標値						
		実績						
	単位	目標値						
		実績						

前期基本計画 平成27年度 施策方針評価書

政 策 : 06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

基本施策 : 02 住民自治につながる総合計画の確実な推進

施 策 : 03 新たな価値創造のための連携の推進

施策担当職・氏名 企画政策課総括主査 杉村 英久

2. 施策の実現に向けての平成27年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B 概ね達成した

新たな取組として、盛岡広域圏における経済成長のけん引、高次の都市機能集積・強化及び生活関連機能サービスの向上を図ることを目的として平成28年1月15日に盛岡市と連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結しました。

また、国が進めるまち・ひと・しごと創生法に基づく地方版総合戦略である「滝沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、産学官金言労等各界とのさらなる連携に向けた取組を推進しました。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題の達成（実現）状況

C 一部達成した

【重点課題】

総合計画の確実な展開と課題解決につながる学連携事業のあり方検討と、連携中枢都市圏構想による新たな連携についての検討

【重点課題に対する達成状況】

- ・学連携事業については、今後のあり方の具体的な検討にまでは至りませんでした。
- ・連携中枢都市圏構想による新たな連携については、連携協約の締結によって、より具体的な取組に向けて進展しました。

3. 施策の実現に向けての平成27年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B 社会環境変化あり

人口減少や少子高齢社会の進展という盛岡広域圏が抱える課題は、本市にとっても大きな影響を及ぼすものです。従来を取組に加え、連携協約に基づく広域8市町での新たな取組や、大学、企業、関係団体等とのさらなる連携に向けた検討をする必要があります。

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A 必要なし

基本施策達成のための様々な主体との連携は今後ますます必要なものであり、見直しの必要はありません。

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成29年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B 課題あり

【今後の方向性】

連携中枢都市圏構想に基づく連携協約を踏まえ、盛岡広域各市町との連携に向けた取組を引き続き推進していきます。

【引継課題】

学連携事業については、施策の実現に向けた取組として直接的につながるよう検討していきます。

